



トピックス

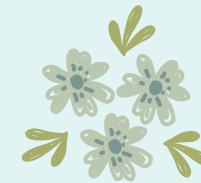
職員基礎研修を開催

10月24日、アートホテル大阪ベイタワーにおいて基礎研修を開催しました。

この研修は、日頃の支援の向上と職場満足度を高める目的で、入職3年目までの職員を対象に平成27年度から実施しています。

今年度は28名が参加し「利用者支援に大切なもの」をテーマに、グループディスカッションを行いました。

ディスカッション後の発表では、支援についてのさまざまな取り組みや、職員間のコミュニケーションに関する提案や意見が数多く報告されました。参加者からは「普段関わることが少ない他施設・事業所の職員から新鮮な視点が得られ、今後に結びつく有意義な研修になった。」との感想が聞かれました。



共済会軟式野球大会に出場 6連覇!達成

9月19日、共済会主催の第41回施設職員軟式野球大会が開催されました。

当日は好天に恵まれ、野球日和となりました。今大会は大阪府下の福祉施設から15チームが参加し、たくさんの職員の方々と親交を深められる機会となりました。

今回優勝すれば大会6連覇ということで、より一層チーム一丸となって戦いました。

決勝戦では、慶生会Aチームに3対1で勝利し、優勝することが出来ました。

来年度、第42回大会でもベストを尽くし、大会7連覇できるよう一層励んでいきたいと思っております。



【理 念】

1. 利用者一人ひとりの人格・人権を尊重し、自立支援を旨として社会福祉の増進に努めます。
2. 利用者本位の立場に立ち、常に笑顔でサービス提供し、顧客満足を追求します。
3. 「福祉の情報発信源」「地域交流の場」として地域福祉の拠点となり、社会貢献に尽くします。

【基本方針】

1. 積極的な情報公開を行い、透明性のある運営を行います。
2. 法令遵守に徹し、個人情報保護に努めます。
3. 職員は常に目標・ビジョンを持ち、継続的に業務改善に真摯に取り組み、自己改革・自己実現を目指します。
4. 社会福祉法人としての専門性を生かし、常に「well being」を実践しつづけます。



弘済院第1特養 秋まつり



救護施設みなと寮 みなとフェスティバル

敬老祝賀会



みなとデイサービスセンター

愛港園・第2愛港園共催の敬老祝賀会が9月16日に開催されました。

当センター利用で喜寿・米寿等、節目を迎えられた方が22名おられ、盛大な式典となりました。利用者で最高齢の方は102歳、いつもと変わらない笑顔で祝賀会に出席して下さいました。

祝賀会では当法人の大西理事長から祝辞とお一人おひとりに記念品が贈られました。午後は花の会の皆様による「銭太鼓」が披露され、4人の一糸乱れぬ太鼓さばきに皆様魅了されました。ビンゴ大会では数字がそろう度に大きな歓声が上がり、豪華な景品を手を大喜びされていきました。

山口真司

鶴橋風月社会福祉活動



特別養護老人ホーム愛港園

9月30日に鶴橋風月よりお好み焼きボランティアの方が来られました。3名の職人によって計140枚のお好み焼きが次々と焼き上がる様子はまさに圧巻でした。利用者の皆様からは「早く食べたいわ。」「美味しそうね。」との言葉が聞かれ、焼き上がりを今か今かと待たれていました。

フロアにも良い香りが漂ってきた頃、昼食の時間の始まりです。皆様べろりとお召し上がりになり、おかわりをする方もおられました。焼き始めから最前列でご覧になっていた利用者が「また来年も参加したい。」と仰っていたことが印象的でした。

大前一若

秋まつり



弘済院第1特別養護老人ホーム

弘済院第1特養秋まつりを10月20日に開催しました。

当日は天候にも恵まれ、多くの利用者やご家族が参加されました。屋台コーナーには焼きそばやフランクフルト、回転焼きといった定番メニューの他に、焼き肉やケーキなどバラエティ豊かなメニューもラインナップ。

また、祭りの合間には大阪保健福祉専門学校のソーラン部によるソーラン節の演技や、NPO 法人郷土サークル野火の方々による和太鼓の演奏も楽しんで頂きました。

「食べて」「遊んで」「鑑賞して」賑やかで楽しい秋の一時を過ごして頂きました。

甲斐賢二郎

りんくう祭



救護施設りんくうみなと

りんくう祭を9月28日に開催しました。

今年度も準備段階から利用者が積極的にお祭りづくりに取り組むとともに、当日の運営には看護学校の学生ボランティアにもご協力を頂きました。今年はお祭り気分を例年以上に味わっていただけるよう、室内だけでなく芝生広場や駐車場にも模擬店を設けました。

当日は利用者のご家族や地域の皆様を招待し、利用者とともに焼き鳥やフランクフルトなどの屋台や、ボーリング、射的などのゲームを楽しまれ、笑顔が溢れる楽しい1日となりました。

宮本里美

千里祭



救護施設千里寮

第18回千里祭を10月5日に開催しました。

今回の催し物には、関西大学の漢舞の皆様、ミュージシャンの小泉奈那様、植田良太様をお招きしました。漢舞の方達の元気な「よさこい踊り」や本格的なJAZZライブは、踊ったり歌ったり利用者の方も参加でき、大いに盛り上がりました。

夕刻からの屋台では、通所・就労支援事業を利用している方にも協力してもらい、施設関係者や地域の皆様などたくさんの方にお越し頂き、楽しんでもらえたと思います。

豊岡義浩

みなとフェスティバル



救護施設みなと寮

令和初のみなとフェスティバルを9月7日に開催しました。

利用者と飾りの作成中、心待ちにされている声を何度も聞きました。そして34回目を迎えた今年も、昨年を引き続き河内長野吹奏楽団ブルーウィングの皆様との迫力ある演奏で幕を開けました。懐かしの曲を口ずさみ、楽しんでいる様子が伺えました。

また模擬店ではご家族の方との久しぶりの再会に嬉しそうな様子の方、お楽しみコーナーで特賞が当たったと報告をしにきてくださる方など、1日を通してたくさん笑顔を見ることができました。

高木智恵



研修の様子

口腔ケア指導研修
第2愛港園主催で、大阪府歯科医師会による口腔ケア研修を開催しました。この研修には、法人内の職員だけでなく、港区内の他事業所からも10名の方が参加されました。今回は歯科医師及び歯科衛生士より「口腔保健指導」の講習を受けました。高齢者にとって口から食事を摂ることの大切さ、それを継続するための口腔ケア体操を学びました。今回の講義と実技指導で学んだ口腔ケアを取り入れ、食事前に行っている口腔体操を継続し、利用者の咀嚼・嚥下機能の維持向上に努めていきたいと思えます。
(特別養護老人ホーム第2愛港園 菅野裕一)

公益的な取り組み

京都市中央保護所では平成30年度から京都市下京区内にある京町屋風厨房をお借りして「男の料理教室」を行っています。
これまで行った料理教室は数えて8回となりました。毎回参加者のリクエストに応じながら、低コストで簡単に調理が出来る様な企画をしています。
目的は参加者が居宅生活に於いて基本的な自炊が出来る様に支援する事、また料理をする事によって五感(味覚・触覚・視覚・聴覚・臭覚)が養われ、今まで以上に料理に好奇心を持って頂くことです。
今回は「暖まろう、語ろう、和もう」というテーマで鍋囲み会を開催しました。京都市中央保護所の利用者だけでなく、元利用者、社協関係者が参加されて皆で語らいながら楽しく開催できました。
(京都市中央保護所 藤長廣幸)